

＜第2次総合計画進行管理表＞

施策評価表

作成日 令和4年6月21日（火）

1. 基本事項

施策		治水対策の推進		期間	平成30年度～令和4年度	施策担当部課名	都市整備部 道路河川課
総合計画	大項目	5	快適で利便性の高いまち	目的・対象	台風や集中豪雨などによる災害に対する治水対策を講じるため、利根川、荒川などの主要河川改修を促進するとともに、準用河川や普通河川の改修を推進します。 河川や排水路の日常の巡視や点検を実施し、適切な維持管理に努めます。また、内水氾濫の危険から地域を守る排水機場の定期的な点検や修繕を実施するとともに、冠水被害が発生している地域の排水計画の策定を進めます。		
	中項目	1	都市整備の行き届いたまちづくり				
	小項目	4	治水対策の推進				
	主要プロジェクト						
重要度・満足度	近年の記録的な大雨や局地的な集中豪雨等により、市民の災害についての意識が非常に高く、重要度は高い。また、市民の防災に対する啓発活動により市民の満足度についても高い。			施策推進のための主な取組	主要河川の改修促進、準用河川・普通河川の改修推進 排水機場の更新、適正な維持管理 河川・用排水路の維持管理 排水計画の策定		
施策を取り巻く社会状況等	台風や局地的な大雨等による床下浸水や道路冠水などの被害が発生しており、治水対策の強化は重要な施策である。						

2. 評価指標

上段は目標値、下段は実績値

区分	指標名（上段） 算出式・説明（下段）	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				一部達成	未達成	達成	達成	
成果指標	市民の水害に対する安心度	%	-	75.50	75.50	75.50	75.50	75.50
	深谷市民まちづくりアンケート		75.70	71.00	71.80	75.50	78.60	
	宅地などの浸水箇所数	棟	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	国土交通省による水害統計調査		6.00	0.00	4.00	0.00	0.00	

3. 一次評価（今後の施策の方向性）

区分	現状維持	1. 現状維持	2. 拡充	3. 縮小
<p>市民の水害に対する安心度は、その年に発生した台風など大きな災害により左右されてしまう。そのため、引き続き治水対策の強化を図るため、河川、排水路の改修・修繕及び排水機場の適正な維持管理を実施し、実績値が上向くよう努めていく。</p> <p>なお、令和3年度の排水機場の稼働については、7月の大雨時に待機があったものの、機場の運転までには至らなかった。</p>				
			評価者	道路河川課長 今井 吾郎

4. 改善改革プラン（3. 一次評価を受けての具体的な解決策）

区分	具体的な対応策等
<input type="checkbox"/> 既存事業の拡充	令和3年度は、冠水被害の頻発する豊里地区について排水改善事業実施に向けた地元説明会を行い、実施設計を行うなど、事業を着実に進めており、また、大堀川改修工事についても計画通りの進捗となっている。 今後も、各地区における河川、排水路の改修・修繕・浚渫、排水機場の適正な維持管理に努め治水対策の強化を行っていく。
<input type="checkbox"/> 事業の新規立案	
<input type="checkbox"/> 事業の廃止・縮小	
<input type="checkbox"/> 事務事業の再編	
<input checked="" type="checkbox"/> その他	

5. 二次評価（所属長の見解）

<p>豊里地区の排水計画、大堀川の改修工事など、治水対策の強化が計画通り図られている。また、日ごろからの河川、排水路の維持管理や排水機場の運転を適切に行い、台風や集中豪雨に対する準備が図られている。</p> <p>今後も安心した生活が送れるよう、市民の人命、財産を守るべく治水対策に努めていく必要がある。</p>	
所属長	都市整備部長 田嶋 英生